



TOHOKU
UNIVERSITY

第4回 学外情報を起点としたオープンイノベーション 促進セミナー(意見交換会)

第一三共のアウトバウンド型オープンイノベーション

演者 : 遠藤 淳

第一三共株式会社 モダリティ研究所 オープンイノベーション担当

東北大学オープンイノベーション戦略機構は事業戦略に深く関わる大型の共同研究を専門的な人材による集中管理体制の下で戦略的に企画及び推進することにより、社会的インパクトの大きいイノベーションの創出を図り、もって大学全体として社会変革を先導することを目的として創設された新たな組織です。

本機構の活動のひとつとして、学外ニーズ・技術・動向の紹介を戦略的に企画し、学内外の双方向情報交換による創発機会提供があります。

第4回として、上記の題材を取り上げました。

第一三共からは、これまでのオープンイノベーションとは異なった第一三共のモダリティをアカデミアに提供して、アカデミア創薬を加速するアウトバウンド型オープンイノベーションについて紹介していただきます。

オープンな意見交換会ですので、本学内の教職員・学生の皆さまのご参加をお待ちしております（事前申込不要）。

日時

2019年10月2日(水)

18:00-19:30 (受付開始17:45)

会場

星陵会館2階 大会議室

東北大学星陵キャンパス

主催 : 東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>

問合せ : oi-ls2@grp.tohoku.ac.jp

プログラム

17:45～	開場、受付
18:00～	「東北大学オープンイノベーション戦略機構の取組み紹介ならびにNetworking Evening 演者募集」 東北大学 OI 機構 谷津雄之
18:10～	「東北大学と第一三共の包括的共同研究 TOIDSの紹介」 第一三共株式会社 泉 正憲
18:20～	「第一三共のアウトバウンド型オープンイノベーション」 第一三共株式会社 遠藤 淳
18:55～	「応募案件受付のご連絡」 東北大学 OI 機構 大島吉輝
19:00～	名刺交換会、個別相談会

治療法が存在しない病気に苦しむ患者さんを、自らの研究成果を実用化することで助けたいと願う先生へ、実用化のツールとして第一三共のモダリティを活用頂き、医師主導の治験を実施しませんか？

【提供できるモダリティ】

- ・抗体（バイスペシフィックを含む新規標的抗原）
- ・核酸（エキソスキッピングやギャップマー用のENAアンチセンスオリゴ）
- ・中分子スカフォールド（多様性を有するヒト由来プロテアーゼ阻害タンパクを骨格とする第一三共オリジナルなスカフォールド）

【こんな方が対象です】

- ・希少疾患や難病に対する新規標的を見つけたが、その実用化の術を持たない
- ・プロミッシングな標的に対して、低分子創薬を試みるが、特異性や選択性が得られず断念した経験のある方
- ・大学の研究成果を事業化することに興味・関心のある方
- ・研究（論文作成）目的でのモダリティ提供は行いません、あくまでも患者を助ける（実用化）目的のための提供です